

三重県鳥羽市



流木をバイオマス資源に変換するプロジェクト

島国かつ変化する気候条件により、離島や海流のあたる海岸では大量の流木問題に悩まされます。

三重県鳥羽市も同様で、しろんご浜（島の宝100景）や奈佐の浜の流木問題は地域課題の枠を超えつつあります。

現在は地域の清掃活動で対処していますが、地域おこし協力隊や地域団体が連携し新プロジェクトに試みはじめています。

それは 『流木のバイオマス資源化』 になります。

流木のバイオマス資源活用先は？

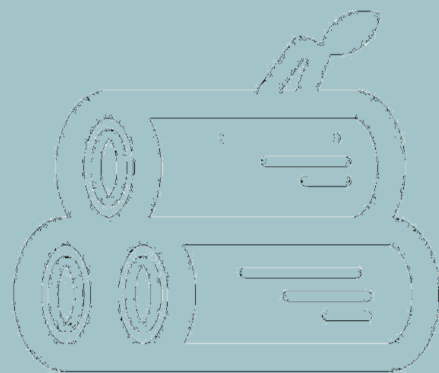
- 近接地域の緑化資材
- 災害時や漁業事業での燃料資材



プロジェクト導入のメリットとは？

| コストカットが見込まれる費用 | 得られるメリット |
|---|---|
| <p>自治体が委託していた流木清掃に関わる</p> <ul style="list-style-type: none">● 人件費● 収集運搬費用● 処分費用 | <ul style="list-style-type: none">● 地域課題の解決● 資源の循環（環境保全）を行える |

1%



流木の資源化において重要なポイントは塩分濃度になります。

塩分濃度が

1%未満⇒緑化資材（ウッドチップ等）

0.4%未満⇒バイオマス燃料素材

0.05%未満⇒ペレット燃料

このラインをクリアするとバイオマス資源として活用することができます。

降水量が

1日20mm以上が5回



約10年前、環境省「循環型社会形成推進科学研究費補助金」で実施された研究結果より自然浄化（塩分濃度1%をきること）で実現可能です。

また、この降水量は鳥羽市の3~11月の月平均降水量でまかなうことができ、プロジェクトにかかる制限は小さく抑えられます。

- 林業事業社（ウッドチップ買取を行う）
- 緑化施工事業社

本プロジェクトは地域団体、自治体、研究機関等との連携が欠かせません。

さらに流木を永續して資源化するために

『収益化』

を検討しています。上記事業社様と協力したいと考えております。ぜひともご連絡よろしくお願いたします。